

椎尾辨匡 しんきやう はんきやう 佛教學者、文學博士。明治九年七月六日愛知縣生れ、昭和四十六年二月七日歿（八六一―一九七二）。號共生人、節堂。明治二十八年東京帝國大學文科大學哲學科卒。大正十一年共生運動を興す。十五年大正大學教授（のち學長）、昭和二年衆議院議員、二十年増上寺法主。

著書『佛教の新研究』（合著・上宮教會―河瀬秀治編、大正七年十一月二十日大阪屋號書店）、『文化の權威』（大正九年六月三十日隆文館圖書株式會社）、『國民精神作詔書衍義』（内題「國民精神作興詔書衍義」浄土宗教學課―見山任達編、大正十二年八月二十日浄土宗教務所）、『有信有業の教育（國民教育）』於ける（昭和八年六月二十日共生會出版部）、『佛教講話』（合著・佛誕二千五百年記念學會編、昭和十年五月二十日改造社）、『第七十議會解散の是非併而して近時の政黨に關する所感』各方面に聴く』（合著、昭和十二年四月四日昭和特別通信社）、『生まるる御國―正法王國の擴充』（昭和十二年一月五日共生會出版部）、『人間と宗教』（昭和十六年一月十五日潮文閣）、『國體と佛教』（昭和十六年十一月五日愛知・東文堂書房）、『日本浄土教の中核』（法然上人の下山開京思想史）』（昭和二十五年六月十五日大東出版社）、『日本浄土教』（昭和四十四年四月十五日共生會）等。文獻の、藤井實應他編『椎尾博士と共生―喜壽記念』（昭和二十八年六月）（自椎尾博士喜壽記念會）、林聖法編『椎尾辨匡先生追悼録』（昭和四十六年十一月二十十五日愛知・東海学園仏教青年會）等がある。

